

令和3年度 外部評価委員による評価表

【委員長まとめ・提言】

外部評価委員会で説明された自己評価を見ると、中高を通して転学者や問題を抱える生徒・不登校等のケア・対応の課題があること(苦慮していること)が指摘されている。この課題は、生活部の課題として把握されているが、今日では中学校と高等学校の環境が大きく変わっている中で、中等教育のあり方を問いながら総合的な改善を行う必要がある。

その点、貴校は、「普通科よりも深く、幅広く勉強して教養を深め、専門性を高めることや、教科をまたいだ知識や考え方を身につけていく学科」として「教養科学科」を設置しており、SGTやボランティア活動・国際交流などを通して「社会に開かれた学び」ができるようにカリキュラム・デザインがなされていることは素晴らしいことだと思います。

しかし、SDGs時代を生きる生徒が自分事として学ぶ意義・意味を掴んでいくことを重視したカリキュラム・授業となるような、さらなる改善を期待したい。1つは、キャリア教育の重視であり、特に先に述べたように女性(女子高生)の目線で、生き方・進路を考えることを重視する必要がある。これからの社会の変容のなかで、従来の基礎基本の充実だけでなく、「基礎基本+自分らしさ・自分事の学びを学習デザインしていくこと」が求められる。可能性のある教養科学科の発想をこの考え方で発展充実させ、カリキュラムや教育実践で工夫してほしい。

そのような視点で自己評価を改めて見ると、各教科の自己評価の観点が受験科目の場合は従来の受験対応の観点、技術・家庭や保健体育などで既存の教科観を抜けておらず、SDGs時代のカリキュラム・授業のあり方を見据えて各教科の重点目標を設定できていないように思われる。また、進路部・進路指導部が大学入試対応に終始していることが気になることである。入試対応は必要であるが、進路部の進路指導部でもキャリア教育(+生徒指導部)の視点をいれた体制づくりを考えていく必要がないだろうか？N高校や通信制の人気などが昨年度委員会では話題にのぼり、吉本興行やナベプロの通信制(オンライン)高校もR3年度に発足したという状況の中で、そのような外部状況も考えに入れながら貴校らしいキャリア教育を創り出してほしい。

以上からすると、教務部と進路部・生活部等を総合的な視点で捉えて相互連携して行くことが考えられ、ポイントは「個の学びの最適化」戦略であり、「生徒の学び」を計画し・実施・評価(振り返る)する視点であると思う。

【各委員まとめ】

○外部評価委員会での先生方からの発言から、先生方が互いに認め合って、教育活動を推進していると感じます。先生方の変容に感心します。

○管理職を中心とした全職員の頑張りで、毎年入学者も増加し、進路実績も上げています。生徒一人一人の頑張りはもちろんですが、担任だけでなく、学年、教科担当、各分掌担当等がうまく絡んで、静岡学園らしい文化を育てているからだと感じます。ただ、担任を含めて先生方の負担過多による健康面への配慮をお願いします。

○新任教員をメンター制によって育成していくように、生徒の中にもメンターが必要な子が必ずいると思います。発達障害を持った子でも安心してチャレンジしていける静学であってほしいと思います。

○日頃の、御校の地域住民に対する様々な配慮に感謝申し上げます。外部評価委員となり様々な情報を提供いただき、私のみならず当自治会会員も御校に対する理解も高まっていると思われまます。ことに、発災時の避難場所として利用させていただくにあたり、御校との関係が築かれていることは、自治会の安心感となっております。今後ともよろしく願いいたします。

○混沌とした時代の中で、すべての分掌で創意工夫しながら関係者一丸となって活動されていることには敬意を表したいと思います。

一方、最近の進学において、やや停滞感を抱くので、創設者の牧野賢一先生から「喝！」を入れられてもおかしくない現況だと思います。牧野先生は、開成・灘・ラサール中学高校を見学し、進学のために熱弁をいつも奮っていました。孝友三心の裏には、「貫く根性」がいつもあります。今一度、進学面では目標を高く持っていただきたいと思います。私学ゆえの特徴は十分浸透しているので、真のリーダー育成のための目標の在り方や、見直しを毎年ブラッシュアップしていただけますと幸いに存じます。

○新型コロナウイルス感染症が流行して3年目に入りました。依然として終息の見通しが立たない中、少なくとも今年度上半期は従前のように対面授業とオンライン授業を両立させる展開になるのではないのでしょうか。難しい状況が続きますが、最善を尽くしていただきたいと思います。対面授業の時間が取れない中で、生徒の心が安定しにくい面もあるかと思いますが丁寧に対応してください。

○今後も志願者が増えるように、「生徒満足度」の向上を図ってください。卒業後の同窓会活動でのつながりを含めて、「静岡学園で学んで良かった」と考えてもらうことが、「自分の子どもにもここで学ばせたい」という思いにつながるようになります。それには、希望する進路を歩むことがまず第一で、同時に学校生活が充実していることが求められます。

○新学習指導要領の実施、大学入学共通テストへの切り替えなど、変化の時代への備えが求められます。情報収集を進め、柔軟に対応してください。教職員も研修の一方で、ゆとりや余裕を持つことが重要です。しっかり休み、同時にリフレッシュしてもらいたいです。教職員が疲弊しては、生徒の心を動かす授業はできないかもしれません。

○18歳成人に向けた対応は、待ったなしといえます。学校にそのすべてを求めるべきではないと言えますが、各家庭でどれだけ真剣に考えているかは疑問です。契約上のトラブル回避など、解決には専門機関の助けが必要になりますが、そこにつなげることができるといいと思います。

○ウクライナで起きている戦争は、直接私たちの生活に関係してこないように見えますが、物価の高騰、避難民の受け入れなど徐々に影響は出ています。そして国際社会は第2次世界大戦後でもっとも大きな転機を迎えています。特に安全保障の問題は切実です。戦争の行方や国際社会の動向は、今の子どもたちも将来に大きな影響を与えるかもしれません。しっかりと見つめる姿勢を忘れてはなりません。

達成度 A ほぼ達成(8割以上) B 概ね達成(6割以上)
C 変化の兆し(4割以上) D 不十分(4割未満)

学年 教科 分掌	担当	No.	令和3年度重点目標	評価	外部評価委員の意見及び次年度への提言
学	中学部	1	生徒・保護者から信頼される、安全・安心な学びの場を提供する。	A	私立中学の特徴が出ていて、評価できると思います。高校と比べて生徒数が少ないので、その利点を生かしてきめ細かい対応ができていると感じました。
		2	生徒に、将来の静学のリーダーに相応しい生活習慣と学習習慣を身に付けさせる。	A	生徒・保護者の考える安全・安心な学びの場という概念と、学校の考えている安全・安心な学びの場という考えが一致しているかを検証すべき必要もあるかと思えます。
		3	総合的な学習の時間、SGT、特別活動を充実し、「知る」「考える」「表現する」を楽しめる生徒を育てる。	A	発達段階を考えた場合、目標も中学一年、二年、三年と設定する必要もあるのでは、と感じました。学校生活の満足度と学習に対する意欲、成績の向上は、関連性が高いと言われています。生徒個々が、どのような場面、どのような取り組みに充実感を感じるのか、あるいは逆に不満を感じるのか、少し気になりました。
	高校1年	4	授業・家庭学習など基本的な学習習慣を確立し、高校における学習スタイルの基礎を築く。	A	投稿について。感想を抱き、それを文章として表現することは重要です。その積み重ねは一生涯の財産となります。積極的に取り組んでください。
		5	部活動・SGTなど様々な活動に積極的にチャレンジさせ、それらの経験を通じて総合力向上を図る。	A	学習スタイルの基礎が築けたようで良かったと思います。集団の学力に幅が広く、バラつきのある学力分布であることを想像すると、上位層、下位層を同時に指導していく難しさが窺えます。
		6	生徒が安心して生活できる環境を整え、学校生活の基礎を確立する。	A	教育活動の中でどのようなことが環境へ負荷をかけているのか、生徒にも考えさせ、具体的に実践していく取り組みを各学年、各分掌を超えて考えていただきたい。

年	高校2年	7	生徒および保護者が安心できる学校生活を提供する。	B	学習面でコロナ禍の影響を最も受けた学年のよう自己評価が厳しくなっていますが、それを乗り越えようとした努力は評価に値します。面談の実施率が高いことは評価できると思います。 結果のみで評価をするのではなく、学年として取り組んできたことが不十分であったなら、Cでも仕方ないと思いますが…。生徒に関する情報共有は大事です。成績不振者の抱える問題点を分析して次年度への道筋をつけて上げる。その取り組みに期待します。 先生方の努力に対する結果は思ったようにはならなかったかもしれないが、努力の度合いを結果という数値で表すことは難しいです。来年度この学年がもっと高みに上げられるよう、考えること行動することを怠らないでください。
		8	生徒に2年生としてふさわしい学習習慣を身につけさせ、生徒の進学に対する意識を高める。	B	
		9	教員と生徒が一丸となり、学校行事や部活動を通して生徒の人としての力を育む。	B	
	高校3年	10	生徒・保護者が安心できる学校生活の提供。	B	入学当初の考察を思い起こすと、高3生の成長が大変すばらしく、普段の学校生活の積み重ねの結果だと思われます。成功事例と捉え、次年度以降に役立てていただきたいです。コロナ禍での進路指導は大変だったと思います。担任の頑張り、学年内での連携だけでなく、教科担当等多くのサポートがあって、一人一人の生徒の進路が決まっていたと思います。多くの支援の積み重ねを感じます。上位層と中下位層との学力差が課題のようですが、学校の評価を上げるためにも全体のレベルアップを目指して頂ければと思います。 小論文や面接試験は、テクニックも必要だが、実際の体験やそれに対する考えなども重要です。可能であれば、さまざまな体験を積み重ねてあげたい。座学だけでは上滑りなものになります。 進路実現という生徒たちのゴールに対するフォロー面では、進路の可否から、本人の満足度まで評価すべき側面があるように思います。次年度以降のためには、定量的なデータの積み重ねが必要になると思います。
		11	学年全体の学力の向上。	B	
		12	生徒の進路実現の支援。	A	
事務局	総務課	68	財務状況の改善	A	積極的によくできていると思います。増収と支出削減の両面から取り組んでの収支改善は立派な決算だと思います。次年度以降は、増築工事との絡みがあるので、慎重に作業を進めてください。
		69	施設・設備新設・更新の計画的な実施	A	
	学務課	70	学納金の確実な収納。	A	定員を上回る入学者が確保されたことは素晴らしいと思います。志願者数の増加は学校の評価と連動していると思います。次年度以降、これまで以上に教育の質が問われることとなります。全校を挙げての取り組みに期待します。地域の避難場所として、どこまでができる、あるいはできないのかということを知ることができると良いです。志願者が増えていることは喜ばしいです。さらに実績を重ねてアピールできるように。女子が増えたことで、女子への対応は万全なのかチェックすることが重要です。外部評価委員会への出席者が全員男性という中で、女性の声はしっかり反映されているか、点検してください。
		71	入学定員の確保(中学90名、高校360名)。 中学志願者(前期のみ)1.5倍以上、高校志願者 単願170名、併願1200名以上。 他の公立上位校から本校への単願者を増加させる。	A	
		72	総務管理課との協働 + 学校組織全体で対応する広報活動	A	
教	国語	13	自らの目標に向かって主体的に学習に取り組む生徒の育成。	A	国語力の向上は他教科の学習理解にもつながることを考えると、朝テストや週末課題を計画的に実施し、基礎学力の定着を図っていったことは、評価できます。 新学習指導要領の「国語改革」で注目される「論理国語」と「文学国語」について。決まったことなので今さら何を言っても始まらないが、なぜ分けるのか疑問。両方とも必要だからです。副教材などを活用して対応してもらいたい。最近では読解力が低下して設問の意図も読み取れないという指摘があるが、そもそも論理的な考え方は数学や情報とともに、総合的に身に付ける必要があるように思う。一方で文学は受け止め方がさまざまで答えは一つではない。どんな感じ方、受け止め方があるのか、を学ぶことも大事ではないか。
		14	新入試や新指導要領への対応を見据えた、効果的な指導方法の開発と授業改善。	A	
	(地歴・社会・公民)	15	生徒の学ぶ意欲、主体的に学習に取り組む姿勢の育成	A	研修も含め、努力の賜物だと思いました。次年度以降も継続願います。 コロナ禍による制約のある中、プレゼンテーションの取り入れ等ご努力を感じます。集団の学力に幅が広く、バラつきのある学力分布であることを想像すると、目標平均値を設けることの難しさがあると推察されます。
		16	新入試や新指導要領への対応を見据えた授業の改善	B	
		17	大学入試に対応できる学力の育成	B	
	数学	18	自ら学ぶ意識を持ち、主体的に学習に取り組む生徒を育成する。(指導)	B	自主性、主体性を育むための、「授業」「週末課題」「朝テスト」による教育内容の『連動』を目指していることは、大変評価できます。入試において点数の差が大きい教科の一つであり、苦手なため国公立大学受験を断念せざるを得ない生徒もいるのではと、推察します。そのような中で結果を出しているご指導に対し、感服しました。授業評価アンケートは、各教科が年二回実施しているようですが、数値による結果集計だけでなく生徒の声も上がって来るのでしょうか。統計分野の研修については、次年度に期待します。
		19	多様化する入試に対応できるような指導方法を研究する。(教材研究)	A	
		20	教員の教科観の共有、授業内容・指導方法・評価方法を検討する場として教科部会を機能させる。(組織)	B	
	理科	21	新学習指導要領に沿ったシラバスの作成および実行に向けた授業改善	B	必須科目が理科を選択する生徒にとって、不安になる評価です。生徒に結果が出るような側面からの目標を立案していただくことを次年度以降に期待します。 薬剤師による薬品庫の確認を行っていることは、知りませんでした。管理ができていているという評価は、当然ではありますが安心できます。盛んに実験を行い、将来につながる取り組みを期待します。
		22	薬品の精査と管理決定および老朽化した器具の整理	A	
	英語	23	情報共有を密にし、組織化した指導体制を確立する。	B	数値目標は、分かりやすいとは言え、教育の本質から逸脱する事も留意すべきですが、探究系の平均点+17%で、目標を達成し評価できます。私立大学入試の出題傾向については、継続的な分析を期待します。 目指す生徒(卒業していく生徒に育みたい英語の力)を、共有する必要はないでしょうか。それが指導体制にもつながる気がします。
		24	多様化する国公立大学と私立大学入試について検証し、どちらにも対応できる指導方法を確立させる。	B	
		25	中学3年生及び高校全学年にオンライン英会話を実施し、4技能のバランスの良い伸長を目指す。	A	

科	保健体育	26	運動能力・体力向上に努めるとともに、挨拶・礼儀を重んじ、協力性を高めさせる。	B	コロナ禍による制約のある中、授業内容の工夫等、ご努力を感じます。指導要領の実践と受験生にとって気分転換も期待できる内容の授業、この二つの両立は、傍からすると大変ではないかと思えます。知識の定着を図るためには、テストが定量的な結果も望めると思えますので、次年度以降は期待しております。
		27	新体力テストでは生徒一人ひとり身体活動向上に取り組む。	B	
		28	教科書上での内容を自らの生活に生かせるように知識の定着を図る。	A	
	技術・家庭	29	授業を通して生活者としての問題意識を持たせ、広い視野に立つてものごとを見る姿勢を身につけさせる。	B	「ものづくりの喜び」は大事にしたいです。実習中に換気等を行うなど、コロナ禍による制約のある中、授業内容の工夫等、ご努力を感じます。感染対策等を工夫したことで、調理実習を行うことや、高齢者の擬似体験を実施することができたことは、細かな配慮をどれ程したかと思うと、頭が下がります。
		30	実技・実習を通して生活的自立のスキルを身につけ、協働の力を育む。また、生活に役立つ作品作りを通して、ものづくりの喜びを知らせる。	B	
		31	生徒が充実して安全に実習、製作に取り組めるように実習室の環境を整える。	A	
	芸術	32	授業の質を向上させ、生徒が生活や社会の中で芸術や芸術文化と豊かにかかわる資質・能力を育成する	B	芸術文化は、若いころになるべく本物を見聞きすることが大事です。そうした機会を可能な限り設けることが求められます。特徴があって、よく遂行されたと思えます。どのような形で「授業のゴール」、「評価基準」が示され、「協働学習」が如何にして取り入れられたのか、興味があるところです。制限のある中で、できる範囲で目標には近づけているので評価できると思えます。
		33	教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせ、社会や文化と深くかかわる学習のプロセスづくりを行う	A	
		34	適切な評価基準を設定し、単元や題材のねらいを明確にする	A	
	情報	35	生徒一人一人の好奇心を高め社会のリーダーとしての人材育成に必要な情報機器を、表計算による統計処理や情報整理、プレゼンテーションによる表現の道具として適切に活用できるように育成する。	B	エクセルやワードの利用は、現代版「読み書きそろばん」で必要なリテラシーです。「生きる力」としても身につけておく必要があります。ネット利用のマナーとルールも同様に身につけておく必要があります。一方で、アルゴリズムを理解することも重要で、物事の考え方や取り組み方、問題解決の仕方を学ぶこととなります。目先の技術を学ぶだけでなく、論理的な考え方を学習させたい。現代社会の実生活での利害にも直接関連する教科と考えられ、一般に考えられている以上に重要な授業です。ご担当者のご指導に期待しています。
		36	情報の収集・処理・表現を通して広くコミュニケーション能力を養い情報社会に積極的に参画する態度を育てる。	B	
	教務部	教務課	37	教務課から全教員への周知事項を徹底し、全教員が共通認識を持って教育活動を行ない、教育活動の円滑な推進を図る。	A
38			教務備品、緑風塾・特別活動、学校行事について、教育活動が滞ることがないように、先を見通しながら管理・企画・情報配信を行う。	A	
39			教務課内の協力体制の強化に加え、日課業務について情報管理課や研修課とも協力体制を築き、関連する業務を共有し協力体制を整える。	A	
情報管理課		40	静岡県「ICTを活用した教育」推進計画・法人の新高校整備計画・情報セキュリティ基本方針・インフラ整備提案依頼書などに従った情報システムを構築する。	B	セキュリティに関しては十分留意をお願いします。学校業務のあらゆる分野で情報管理のコンピュータ化が浸透している中、世代間格差もあると思うが、情報リテラシーを高める具体的取り組みは、実施されていますか。
		41	教務課・研修課・進路課と連携し、各アプリケーションにおける操作、データ連携を高める。	A	
		42	教員のデジタル格差の是正と、データ処理技術の普及。	A	
研修課		43	教員自ら授業に対する検証を行い、授業改善および授業力向上を図る。	A	学校にとって教職員は、人的財産ですからその資質能力を高める研修は、不可欠と言えます。コロナ禍の制約がある中、具体的取り組み事項を見る限り評価できます。研究授業、反省会などを通し、教務課、各教科との連携が、図れたと考えられます。次年度以降も、「井の中の蛙」にならないようにする努力をお願いします。
		44	校外研修・校内研修を通して、教員の資質能力の向上を図る。	A	
		45	教務部の各課と連携し、円滑な業務遂行を図る。	A	
生活部	生徒指導課	46	生徒の自主性、主体性の育成を目指した生徒指導。	B	従来、指導というと教員主導と考えられていましたが、生徒の自主性、主体性育成を考えた指導目標は、的確です。ただし、それらの要素が具体的事項では若干薄い感じがしました。地震、噴火、台風等の自然災害による、想定される学校の被害を軸に、防災訓練を進めたい。より現実に近い内容を考える必要があるように思います。ボランティア活動の充実は大事です。誰のために、何ができるかをしっかり考えさせたい。新入生はもちろんですが、上級生の中にも困ったときに周りに助けを求められない子がきついていると思います。(困る原因は様々ですが)それらに対応できる仕組みを作っているのでしょうか。
		47	学校生活における基本的な生活習慣の習得、自らルールを守る心づくり。	B	
	保健衛生課	48	健康の重要性に気づかせ、健康の維持、増進に必要な生活習慣を確立させる。	A	安全整備課とともに相当神経を使い大変だったと思えます。感染症対策を全校に徹底させ、理解とご協力を求めている毎日のご努力の大きさは、容易に想像できます。進路の実績一つとっても、そのような取り組みの現れと思えました。保健室が、生徒の避難場所、駆け込み寺、悩み相談場所となっていることもあると思えます。生徒の身体面、精神面を支える拠り所であってほしいと思えます。授業時の生徒の様子など定期的に巡回して見守ることが必要です。通常、コーディネーターや養護教諭、管理職等が行っています。そういった様子が評価委員会では見られませんでしたので、参観する機会があると良いと思いました。
		49	感染症を予防し、感染症に関連する対策を行う。	B	
		50	生徒が安心して学校生活を送る手助けをする。	A	

分	安全整備課	51	学校施設の日常時・非常時における防災安全体制の構築。	B	想定される「南海トラフ巨大地震」に備え、地震活動や地殻変動に異常がみられた時に発表される「臨時情報」への対応も進めたいです。臨時情報発表時は、地震発生を警戒しながらも社会経済活動を継続することになっています。どんな行動を取るのか、事前に定めておく必要があります。防災に必要なのは想像力。「もしこうなったらどうしよう」という危機意識が事故を予防します。
		52	定期点検や危険箇所への対処を万全なものとし、事故発生のないよう施設・設備の改善、保全を図る。	A	防災訓練の実施は、どんな形であれ、実施することを遵守する方が、万一の備えにつながります。次年度以降は絶対に実行願います。学校開設時災害が発生した際、避難した住民と在校生とが、お互い良い関係のもと避難、そしてそれぞれの活動ができるのか、問題点などを共有する機会を設ける必要を感じました。
掌	進路指導課	53	進路シラバスに基づいた進路指導計画を実施するとともに、進路指導室の活用を促す。	B	世間・関係者・保護者などからの進学校としての評判が大学進学先で評価されるからには、毎年の数値目標設定とその必達を目指すことは大変ですが大事なことだと思います。低学年から進路意識を付けること、進路適正を見出していくことが大切だと思います。進路指導計画は、1、2、3年それぞれ段階的にたてられていると思います。
		54	大学進学数値目標(国公立大学100、難関私立大学120)達成のために、補講を計画・実施するとともにテスト分析とフィードバックの仕組みを構築する。	B	小論文対象等の実施により、国公立大学、難関私立大学への高い合格実績を今年度もあげており、指導の的確さがうかがえます。国公立大学、難関私立大学の合格実績は、中学生にとりやはり志望校(併願校)選択の一番の要素です。同時に、合格者数という数字上の目標達成に固執せず、受験が生徒個々の目標達成の一過程ということも理解させて欲しい気がします。
		55	大学入試改革に関する情報収集を行い、進路指導計画へ迅速に反映させる。	B	どの教科に限らず、朝テストや週末課題を真面目に取り組めば地力がついていくんだという実績や証拠が見える化できると良いと思います。生徒の張り合いになり、大学合格に結びつく生徒がさらに出てくるはずで。
学	び支援課	56	SGT外部講師講座は、毎年新しい講座を加えると同時に見直しを図りながらコンテンツを増やし、体験を通じて学ぶものから学術的な講座まで広く提供するように努める。	A	SGT内部、外部講師講座は、その内容、多岐な分野、うかがえる講座レベル等、大変魅力的なものと感じました。今後も更に広報していくべき内容です。毎年新たな講座が開設され、生徒は魅力を感じていると思います。
		57	SGT内部講師講座は、授業の枠を超えた分野の教養系講座をなるべく多く設置出来るように事務職員を含めた職員の協力をお願いし、生徒の授業以外の学びを支援するように努める。	B	「授業の枠を超えた分野の講座」という表現が、的確かどうかわかりませんが、様々な分野で様々な活動をされている方々の考えを聞く機会は、有益であり学ぶ事が多いと思います。
		58	緑風塾の充実に努める。	B	参加生徒の割合はどのくらいでしょうか。募集人数が少ないために始めから諦めている生徒はいませんか。1年間の活動をまとめることを意識させて、レポートの書き方から丁寧に指導していく必要があると思います。
総務管理課	59	入学式、始業・終業式、開校記念式・講演、芸術鑑賞、体験入学、入試説明会などの行事を、丁寧に遂行する。	A	学校生活の満足度と学習に対する意欲、成績の向上は、関連性が高いと言われています。生徒個々が、どのような場面(行事)、どのような取り組みに充実感を感じるのか、あるいは逆に不満を感じるのか、気になりました。コロナを逆手にとって、知恵と工夫とやる気で印象(心)に残るものにしたいですね。	
	60	PTAや同窓会などの活動を通じ、ご縁を結び、絆を深めるとともに、良質な文化資本を蓄積する。	A	卒業生が出身母校に誇りを持つことは、学校存続の土台ともなります。卒業生名簿の作成等、同窓会組織の更なる構築に向けた活動に着手した点は評価できます。	
	61	仕事を分担しながら進め、仕事を通じて結ばれる方々のそれぞれの思いやご苦労に触れ、また仕事の意味合いなどに対する理解を深める契機となるよう心掛ける。	A	分掌の目標が、大変壮大であり、素晴らしいと思います。4年度の開校記念式典での講師、上野千鶴子氏を招かれたこと、称賛に値します。	
総務管理部	図書課	62	読書リテラシー、資料活用のための情報リテラシーの育成。	A	情報機器が発達、浸透する中、読書に関する基本的能力を開発していこうとする強い意識、学校の本気度が伝わってきます。「図書館ガイド 図書100選」の編集、発行、素晴らしいと思います。積極的な取組で、多くの生徒は図書に興味を持ってくれたと思います。
		63	生徒図書委員会活動の発展支援。	A	図書だよりは私も読みたくなりました。委員が選ぶ一冊、展示物の作成などからも、生徒への啓蒙と同時に図書委員自身の資質向上に繋がっていると思われます。
		64	図書館利用活性化のための環境整備と広報活動を充実させ、調べ学習における図書館利用や家庭での読書推進をはかる。	A	本をたくさん読み、活字に親しむことは重要。読み書きを十分に行っていないとしっかりした文章表現ができないです。家庭での読書推進をはかることは、簡単ではないと考えられますが、理想、目指す事を諦めず、各取り組みを行っていることは評価できます。
国際交流課	65	コロナ禍の中ではあるが、国際交流プログラムを活性化させ、生徒に様々な機会を提供する。	B	新型コロナウイルス感染症はなかなか終息が見えてきません。オンラインを活用し、可能な限り交流を深めてほしい。留学生の受入れの準備が整っている点、「検討」という目標については概ね評価できます。	
	66	中・長期留学生の受入れの検討。	B	知恵と工夫とやる気で頑張ってください。将来の生徒には必要な要素です。	
	67	スケジュールの視覚化と業務の共有。	B	柔軟な対応ができています。次年度以降の目標や計画は大幅に改善してみることも検討願います。重点目標、具体的取り組み事項、そして結果評価の関連、基準がやや伝わってきません。	